

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】令和 6 年 11 月 29 日(2024.11.29)

【公開番号】特開 2023-79567(P2023-79567A)
【公開日】令和 5 年 6 月 8 日(2023.6.8)
【年通号数】公開公報(特許)2023-106
【出願番号】特願 2021-193082(P2021-193082)
【国際特許分類】

G 0 1 S 7/03(2006.01)

10

G 0 1 S 13/931(2020.01)

【F I】

G 0 1 S 7/03 2 4 0

G 0 1 S 13/931

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 11 月 20 日(2024.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両の側方の状態を検出する検出器の取付構造であって、
前記車両のフレームに支持され、前記フレームから車幅方向外側へ延出する形状をなし
補機が搭載される取付部材と、

前記取付部材において前記車幅方向外側に位置する端部に配設されるとともに前記取付
部材に対し開閉機構を介して開閉自在に連結され、前記検出器が直接又はブラケットを介
して間接的に取り付けられたパネル部と、を備えた

30

ことを特徴とする検出器の取付構造。

【請求項 2】

前記パネル部は、前記車幅方向外側から視て前記補機に少なくともその一部を重複した
閉状態と前記車幅方向外側から視て前記補機に重複しない開状態とに移動可能であり、前
記閉状態において前記検出器が前記車両の側方の状態を検出可能な位置に配置される
ことを特徴とする請求項 1 に記載の検出器の取付構造。

【請求項 3】

前記取付部材と前記パネル部を連結するヒンジ部を備え、

前記パネル部は前記ヒンジ部により回動し開閉する

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の検出器の取付構造。

40

【請求項 4】

前記ヒンジ部は、前記パネル部の下端に取付けられ、

前記パネル部は下端を中心に開閉する

ことを特徴とする請求項 3 に記載の検出器の取付構造。

【請求項 5】

前記補機は、低電圧バッテリーである

ことを特徴とする請求項 1 ～ 4 の何れか 1 項に記載の検出器の取付構造。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

取付部材 1 1 は、サイドフレーム 3 0 に取り付けられている。図 1 及び図 2 に示すように取付部材 1 1 は、サイドフレーム 3 0 に対し車幅方向外側へ延出する形状をなし、補機 4 0 をサイドフレーム 3 0 に対し車幅方向外側で支持している。補機 4 0 は、取付部材 1 1 により、サイドフレーム 3 0 よりも車両の左側（側方）に配置される。

取付部材 1 1 は、補機 4 0 を搭載し得る形状に形成されている。図 1 及び図 2 の取付部材 1 1 は、立方体状をなす補機 4 0（補機バッテリ）の底面と前方および後方の各側面との三面を覆うケース体（バッテリーボックス）として構成されている。

10

20

30

40

50